

WEP

ウェブ俳句通信

VOL. 97

俳句通信

特別作品25句 ● 加藤耕子「春の雪」

特集Ⅰ ● 〈季重なりの名句はありますか〉〈あるよ〉

■ 高浜虚子の季重なり

季重なりと虚子 本井 英

■ 阿波野青畝の季重なり

季節感の「調合」——青畝の季重なり 岸本尚殷

■ 西東三鬼の季重なり

「季重なり」から見える三鬼の世界 遠藤若親男

■ 飯田龍太の季重なり

飯田龍太の季重なりの句——実感に正直に 長田群青

■ 森 澄雄の季重なり

なづなのはなの光悦忌 小田切輝雄

特集Ⅱ ● 「小宅容義全句集」を読む

西池冬郎・寺澤一雄・菊田一翠・柳生正名

【実力作家競詠20句】

岸原清行 「神宿る島」

能村研三 「冠 羽」

佐怒賀正美 「春の滝」

【特別寄稿30句】

古岡桂六「箱根仙石原」

【鑑賞会】

木内恵子第二句集「夜の卓」を読む

出席者 好井由江・鈴木五鈴・木内恵子



● ニュース ●

新連載

女流俳句を読む

『星野立子 三樹黨女』小川美知子

● 作品 ●

大久保百村・鈴木節子・山本洋子・石渡 初・小原麻葉・辻田克巳・
石井いさお・古田紀一・今井 梨・古賀 どれ・広津敬雄・南うみを ほか

春の雪

加藤耕子

畑中の野道一本ひばりなく
横枝に一輪ひらく藪椿
古塚や草にまぎれぬ花すみれ
貯水池の土堤水仙の丈短か
春めくと歩をのばしけり圍めぐり
冴え返るさざなみにのる木の影も



特集Ⅰ

〈季重なりの名句はありますか〉

〈あるよ〉

「季重なりはいけません」という俳人はかなり多いようです。『大辞林』には「季重なり」一句のうちに季語が二つ以上詠みこまれること。主題が分裂するので忌む」とあり、『広辞苑』には「……好ましくないとされる」とあります。

では季重なりの句に佳句・名句はないのでしょうか。

〈あるよ〉ということで、5人の俳人の季重なりの句について、5人の俳人にお書きいただきました。

特集Ⅱ

『小宅容義全句集』を読む

弊社からこの3月に刊行された

『小宅容義全句集』を

4人の俳人に読んでいただきました。



「俳句」に真摯に向きあい、新たな表現と方法をひたすら求め続けた小宅容義の〈生〉のかたちが、この一冊に――。

300×200

第1句集 立木集

第2句集 半円

第3句集 火男

第4句集 西藍

第5句集 牙門

第6句集 尺寸

拾遺

詳報！

〈俳句を世界遺産に〉 記者会見

平成29年1月26日、東京千代田区の日本記者クラブで、〈俳句のユネスコ無形文化遺産登録をめざす〉記者会見が行われました。出席者は次の方々です。

- | | |
|------|----------------|
| 有馬朗人 | 国際俳句交流協会会長 |
| 鷹羽狩行 | (公社)俳人協会会長 |
| 稲畑汀子 | (公社)日本伝統俳句協会会長 |
| 宮坂静生 | 現代俳句協会会長 |
| 岡本 栄 | 伊賀市長 |



左から宮坂氏、稲畑氏、有馬氏、鷹羽氏、岡本氏。



前列左から 太田うさぎ、菅敦、和田順子、藤本美和子、星野高士
後列左から 菅敦、和田順子、藤本美和子、星野高士

ゲスト 浦川聡子・太田うさぎ

菅敦・松尾隆信

和田順子

ホスト 星野高士・藤本美和子

編集部 超結社句会第38回目です。ゲストは「昼」同人の浦川聡子さん、「なんじや」「豆の木」同人の太田うさぎさん。「銀化」同人の菅敦さん、「松の花」主宰の松尾隆信さん。「輪硝子」主宰の和田順子さん。ホストは「玉藻」主宰の星野高士さん、「泉」主宰の藤本美和子さんです。遠慮のない意見交換をお願いします。

高士 では、始めます。名乗りは最後にしてください。自分の句でも他人の句のように意見という演技力が必要です。今日は点が割れました。4点句が4つあります。

水あれば水に映りて青き踏む

和田順子

隆信 「水に映りて」で青きを踏んでいる場所が、はっきり伝わってきますよね。水も温んできているでしょうし、草と水がうまく融合されていて、春の到来を喜んでいる気分が出ていると思いました。

聡子 「水あれば水に映りて」は、ありがちなフレーズだと思っただけで、「青き踏む」という季節を持つてくることによって、景色がぱーと開けていって、水のせせらぎだけで